

農村生活体験事業



～^{おおもり}大森 ^{はなえ}英恵さん(京都府出身)が来町～

よ うこそ和寒町へ！

平成2年にスタートした「農村生活体験事業」は、これまで26都道府県から95名の方が参加されています。

26年目となる今年の実習生 大森さんは、10月末までの5ヶ月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内5戸の受け入れ農家で農業実習をおこない、町内の各種イベントに参加し、和寒町のさまざまな魅力を体験する予定です。町民の皆さん、5ヶ月間どうぞよろしくお願ひします。

大森さんに 聞きました



^{おおもり}大森 ^{はなえ}英恵さん

出身 京都府
現住所 大阪府
趣味 料理・旅行

Q1 和寒町に来て感じたことや印象はどうですか。

自然豊かで、空が広く空気と夜空がきれいな町だと思いました。

Q2 農業にはどのようなイメージがありますか。

厳しく大変な仕事。実りが実感できる仕事だと思います。

Q3 農業を体験したいと思ったきっかけは何ですか。

食の勉強をしている中で、素材そのものについて深く知りたいと思ったのがきっかけです。

Q4 農業体験で楽しみにしていること、不安なこと、学んでみたいことは何ですか。

作物の育て方、成長を見られることが楽しみです。体力がもつのか、農家さんに何かとご迷惑をかけてしまわないか不安です。知らないことばかりだと思うので色々なことを楽しんで学びたいです。

Q5 農業体験のほかにはやってみたいことはありますか。

色々な所に出かけたり、美味しいものを食べたり、美しい自然をたくさん見たいです。

Q6 最後に和寒町民の皆さんにメッセージをどうぞ。

はじめまして。体験事業での受け入れをしていただきありがとうございます。5ヶ月間という短い期間ですが、よろしくお願ひします。

受け入れ農家さんから



事業開始当初から実習生の受け入れに協力していただいている字菊野中道眞佐義さんは「農家が作物をどのように生産しているのかを学んでほしい」「多くの町民との交流を通してまちの魅力を感じてほしい」と話してくれました